

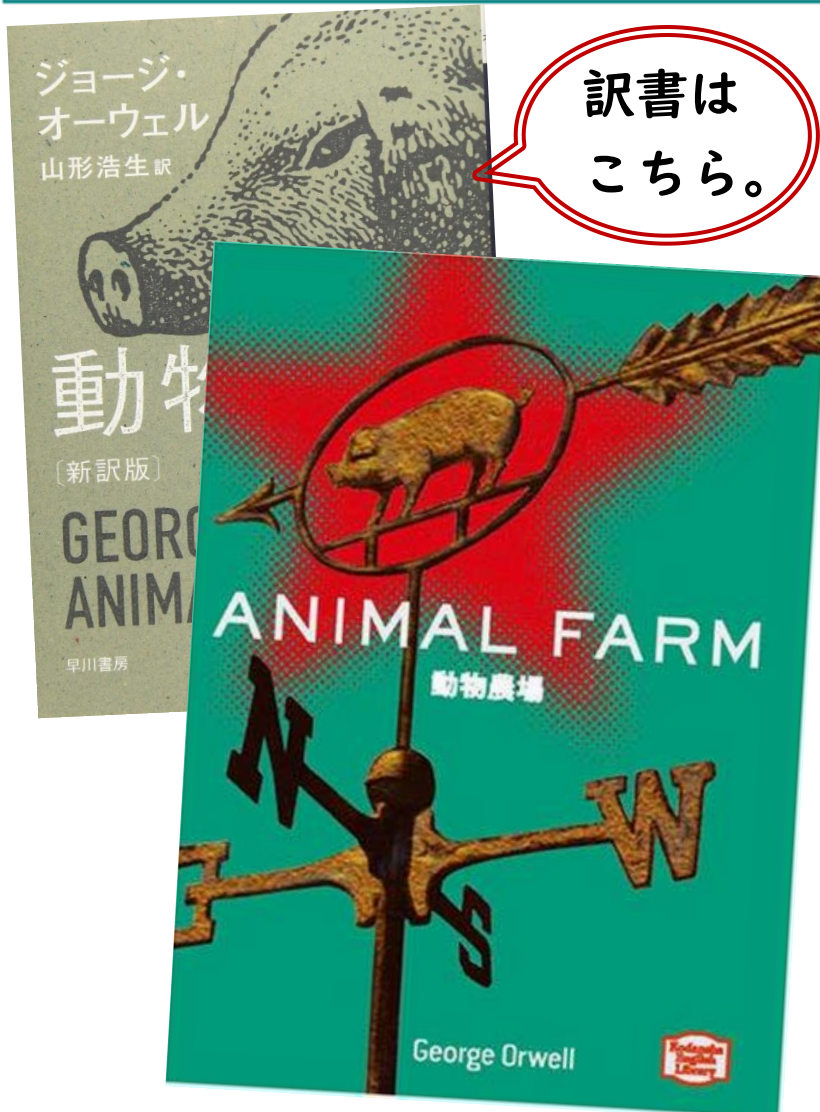
あなたに薦める『この一冊』9月

『Animal Farm』

ジョージ・オーウェル【著】 講談社

英語教諭 岡田 優苗

高校 1年7組、9組 副担任



訳書は
こちら。

この本を初めて読んだのは大学生の時でした。とても可愛い話かな？と思って読み進めていくと、「欲」にまみれた人間を遠回しに批判する内容で、とても印象に残っています。

スターリン体制下における全体主義を描いた風刺小説ではありますが、動物の特長を巧みに捉えたユーモアのある作品でもあります。

あらすじ：メージャー爺さんという豚が「人間から解放されて自分達（動物）のための楽園を作ろう」といい出し、動物たちが蜂起して人間を農場から追い出します。メージャー爺さんの死後、3匹の豚が農場を支配し動物たちを洗脳していきます。その姿はまるでかつて農場を支配していた人間のようで、掟を作り守らないものには罰として動物たちを次々に処刑をします。

といったように本作では動物たちが自由を求めて反乱を起こしますが、結局その中でも新しい指導者が登場して、独裁社会に苦しめられることとなります。社会というものは、どうあっても指導者がいる方が、物事は進みやすくなるので、「支配する者」と「支配される者」という構図をなくすことはできないのかもしれない。

が、社会の構造を何も知らずにのうのうと生きている私たちに警鐘を鳴らしてくれるこの作品は個人的にとっても魅力的に感じています。

George Orwell 豆知識

イギリスの作家。スペイン内乱の実際の体験から、非人間的全体主義体制を痛烈に風刺した。代表作「動物農場」「一九八四年」など。（1903～50）

出典：日本国語大辞典, JapanKnowledge Lib



ここにチクリ。 本校所蔵の風刺文学たち

- ・ ガリバー旅行記 ジョナサン・スウィフト【著】 KADOKAWA



小人たちの国、巨人たちの国、空飛ぶ島の国、馬たちの国……イギリスに妻子を残し、懲りずに旅を続けたガリバー。子供の心と想像力で、スウィフトが描いたこの奇想天外、ユーモアあふれる冒険譚は、けれどとびきり鋭く辛辣に、人間と現実社会をみつめている。

- ・ 帰ってきたヒトラー ティムール・ヴェルメシュ【著】 河出書房新社

ヒトラーが突如、現代に甦った！ 周囲の人々が彼をヒトラーそっくりの芸人だと思いついたことから勘違いが勘違いを呼び、本当のコメディアンにさせられていく。その危険な笑いで本国ドイツに賛否両論を巻き起こした問題作。著者による原注付き。



- ・ 河童・或阿呆の一生 芥川龍之介【著】 ぶんか社



芥川が自ら命を絶った年に発表した「河童」は、痛烈な自虐とともに人間社会を風刺した作品。ほか、人生の暗澹さを描いて憂鬱な気魄に満ちた「玄鶴山房」、激しい強迫観念と神経の戦慄に満ちた「歯車」など6編を所収。

★岡田 優苗(オカダ ユウナ)先生の紹介★

- *担当科目・クラス
コミュ英 I a(高1年4組、7組、9組、10組)
- *星座→おとめ座
- *趣味
YouTubeを観ること
- *自分の中学・高校生活
中学:部活(吹奏楽)と勉強
高校:勉強
- *本校生の印象
主体性がある
- *感動した本
『Animal Farm』ジョージ・オーウェル【著】 講談社
- *読むことが望ましい本
『モモ』ミヒヤエル・エンデ【著】 岩波書店



- ・ 農協月へ行く 筒井康隆【著】 KADOKAWA

「月行てこましたるか」。ひとり6千万円の月旅行に出ることになったご一行様。観光用宇宙船の中で大暴れ、着いた先の月では異星人と最初の接触を取ってしまい、国際問題に発展するが——（表題作）。痛烈なアイロニーとブラックな笑いに満ちた短篇7作を収録。



- ・ イワンのばか トルストイ【著】 岩波書店



トルストイのもっとも有名な創作民話。イワンを勤勉な地主の三男に仕立て、長兄の収奪的なミリタリズム、次兄の独占資本主義的な商行為を批判する。

編集後記:2021年共通テスト・世界史Bの問題において、ジョージ・オーウェルの『一九八四年』を介した問題が出題されました。SF小説がなぜ世界史に関連するのか？ 出題者の意図はどこにあるのか？ 気になった（または、勉強熱心な）あなたは、本学所蔵の「2022年版共通テスト過去問研究世界史B」p. 16をご参照ください。